

子どもを事件や事故から守ろう

毎年この時期は、新入学児童・生徒が不慣れな道路を歩くこと、地理や自動車の運転に不慣れな新社会人が増えること等から、事故が増加する傾向にあります。

また、変質者出没情報が多く寄せられるようになるのもこの頃からです。

危険回避・防止のため、もしもに備えた対応をしっかりと子どもに教えましょう。



子どもへの安全指導のポイント

- 1 通学路やよく利用する道路を、子どもと一緒に歩き、危険な場所を繰り返し教えましょう。

その際、特に重要なポイントとして

- ・教えるときは、子どもと同じ目線で考えて教えましょう。
- ・道路を渡る時は横断歩道や歩道橋を利用させましょう。
- ・横断前に「止まる」、左右を「見る」、車の通過や停止を「待つ」を習慣づけるよう指導しましょう。
- ・「子ども110番の家」等、かけ込み避難場所を覚えておきましょう。
- ・大人の目の届きにくい場所や危険な箇所はないか確認しましょう。

- 2 子どもが外出するときは、「どこで」「だれと」「何を」「何時に帰るのか」の確認を習慣化しましょう。

- 3 子どもの登下校時は、友達など複数で行動するよう指導しましょう。



本年度も北上市少年センターへのご協力をよろしくお願いします

令和3年度の補導活動状況

巡回補導回数

補導員による「愛の一声」人数

回数	人員	小学生	中学生	高校生	その他	合計
562	1,074	2,431	579	2,070	117	5,197



令和3年北上警察署管内
少年事件検挙・補導件数

	3年	2年	前年比
刑法犯	11	8	+3
その他犯罪	0	0	±0
補導件数	34	15	+19

(岩手県警察統計資料より抜粋)

少年センターの主な活動

- 1 街頭補導活動
- 2 少年相談の受理
- 3 愛の一声運動
- 4 非行防止啓発活動
- 5 有害環境の浄化活動
- 6 インターネット、SNS等に起因する犯罪被害防止広報活動



少年相談のお知らせ

ひとりで悩まないで、
まず話してみましょう
専任補導員が対応いたします

- 場所：北上市大通り一丁目3番1号
おでんせプラザぐろーぶ3階
北上市少年センター
○時間：月～金 9時～17時

令和4年度

北上市少年センター職員

所長 高橋 正貴
所長補佐 峠 大地
主任 菊池 一頭
主査 佐々木 威央
主事 鈴木 ひなの
専任補導員 西岡 健一
専任補導員 栗生 尚年

18歳で成人！じゃあ、酒やタバコは？

酒やタバコは20歳から！

民法が改正され、18歳で成人となりましたが、酒やタバコ等はこれまでどおり20歳以上と変わりません。

これは、まだ成長期にある若者の体への悪影響等を考えた結果です。

酒やタバコを摂取するかどうかは20歳になってから熟慮した上で判断しましょう。また、周りの大人の方も20歳未満の人に勧めたりしないよう注意してください。

お酒やタバコは20歳からのままだ



これまでと変わらないもの (20歳以上からのもの)

- ・酒を飲む
- ・タバコを吸う
- ・競馬、競輪、オートレース、競艇の投票券(馬券など)を買う
- ・養子を迎える
- ・大型・中型自動車運転免許の取得(大型自動車運転免許は21歳以上)

自転車の事故を防ぎましょう

暖かくなり、子どもたちが自転車を使う機会が多くなります。

昨年、岩手県内では小・中・高校の児童・生徒128名が交通事故で怪我を負っています。

その内64名が自転車を運転中の事故で、年齢が上がるほどその比率が増え、高校生が巻き込まれた事故の約7割が自転車によるものです。

交通事故を防ぎ、安全な自転車利用をしていくため、各家庭で交通ルールを確認しましょう。



令和3年における岩手県内の児童・学生の の人身事故発生状況

	小学生	中学生	高校生	計
歩行中	17人	7人	5人	29人
自転車	7人	18人	39人	64人
車両同乗中	19人	4人	10人	33人
二輪車運転中			1人	1人
車両運転中			1人	1人
傷者合計	43人	29人	56人	128人
自転車事故の比率	16.3%	62.1%	69.6%	50.0%

(岩手県警察交通事故統計から抜粋)

毎月第3日曜日は「いわて家庭の日」

「いわて家庭の日」とは、親子・家庭の絆を深める日。

青少年が健やかに成長するには、家庭の力が欠かせません。

子どもと向き合う、家族みんなで過ごす、家族そろって食事をする。

「いわて家庭の日」は家庭を大切に、実践する日です。



春のあんしんネット・新学期一斉行動

毎年2月から5月は内閣府が中心となり、多くの青少年が初めてスマートフォン等を手にする春の卒業・進学・新入学の時期に特に重点を置き、スマートフォンやSNS等の安全・安心な利用のための啓発活動等の取組みを集中的に推進する期間です。

ネット依存症や、うつ病を発症する青少年の増加が止まりません。

スマートフォンは、本当に必要かも含めて家庭内でよく話し合い、ルール作りをしてから買い与えましょう。



3月8日17時40分、公立高校の入試のためか、高校生はあまり見かけなかったが、専大北上高校の部活動帰りと思われる生徒数人が自転車で駅方向に向かっていた。さくら野百貨店のアミューズメントでは、青年3人が楽しそうに遊んでいた。諏訪町商店街では、駅に向かう人や駅から市街地に向かう人等、十数人とすれ違ったが、その中に少年の姿はなかった。今回巡回したコースで、問題となるようなものはなかった。



3月2日16時10分、雪の影響もあり、船場、下川原、九年橋等の児童公園で遊んでいる子どもはいなかった。アメリカンワールドの本屋に児童や生徒が何名かいたが、問題行動はなし。アメリカンスポーツやカラオケ店の係員に子どもたちの利用状況を尋ねたが、最近では利用者がいないとの回答であった。コロナの影響もあるのか、巡回中の路上で、少年の姿はほとんどなかった。

3月1日17時45分、公園に子どもたちの姿は見られなかった。さくら野百貨店に高校生が数人いた。3人に気を付けて帰るよう声をかけた。

補導日誌